

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

長期ビジョン

ESG経営の推進によりお客様や社会とともに持続的に成長し、再生可能エネルギーと環境保全の分野を中心にリーディングカンパニーとして社会に必須の存在であり続ける。

経常利益
200億円

連結経常利益
450億円

連結受注高
7000億円以上

ROE
11.5%以上

② 中長期の経営戦略

1. 経営基盤の強化

ストック型ビジネス・EPC事業での多様な人材確保・育成、デジタル化・ナレッジマネジメント推進による生産性向上と技術承継。

3. ESG取り組み推進

気候変動対策、お客様・地域との信頼強化、人材活躍促進、安全と健康確保などの7つの重要課題に事業を通じて対応。

2. 資本政策

ROEを含む定量的目標設定と株主還元方針の刷新。EPC・長期O&M事業を支える財務基盤維持と資本効率向上の両立。

4. 一般廃棄物処理事業

ごみ処理プラント受注と更新・延命化需要の最大活用、ストック型収益モデルの確立に経営資源を集中投下。

③ 対処すべき課題

① 人材リソース不足への対応

- ・ 成長に向けた採用強化と人材育成の継続実施
- ・ 働き甲斐と働きやすさの向上で長期活躍できる環境整備

② 国内需要の構造変化対応

- ・ 人口減少・高齢化による内需縮小への適応
- ・ 行政サービスの民間活用進展で包括委託モデルへの転換
- ・ インフラ老朽化に伴う更新・延命化需要の取り込み

③ 海外市場の課題解決

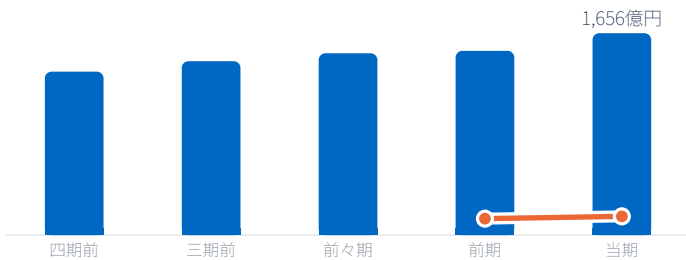
- ・ 東南アジアのバガス燃焼プラント市場でインド・中国メーカーとの競争対応
- ・ 廃棄物発電市場の制度・基準整備と政府資金確保の待機

面接で使えるポイント

- ・ 1912年の創業者田熊常吉によるタクマ式ボイラ発明から継承される『汽罐報国』の精神で…
- ・ Vision 2030で2030年経常利益200億円を目指し…
- ・ 第14次中計で一般廃棄物処理プラントのストック型ビジネスに経営資源を集中し…

証券コード 6013

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
1,656億円営業利益率
9.3%財務健康度
59点 / 100点

将来性 曇り / 就活偏差値 61.9（当サイト算出の参考指標）

平均年収
917万円

機械内 15位/208社

平均年齢
42.2歳

機械内 112位/209社

平均勤続
14.3年

機械内 137位/209社

女性管理職
1.9%

機械内 136位/168社

男性育休
69.6%

機械内 120位/169社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: キャピタル・リサーチ・アンド・マネージメント・カンパニー(C

